

『季節の宅配便』

少し遅めの、純白な花嫁の喜び



近大ミカンとして広く知られているウンシュウミカン。今年例年比、気温が寒くて、少し遅く、ようやく花が咲きました(例年は5月上旬頃)。



自然いっぱいの生石(おいし)農場は都会と比べて空気が澄んでて、緑いっぱい、星いっぱい。先日は野生のイノシシに出会いました。春には山菜が土から顔をのぞかせ、わき出る水が山の草花にとって命の水となっています。今月は生石農場でヨモギを発見。

一般に花がたくさんあると、単純に今年は「豊作」と思われがち。でも、花を咲かすにはとても樹に力がいるので、花の量もほどほどにしないと樹が疲れて、実ないが悪くなります。



ミカンの花言葉
花嫁の喜び

そのため、大きく立派な実をつけるために、一本一本丁寧に摘蕾(てきらい)や摘果(てっか)といって“つぼみ・み”を取る作業をして、小さい実ばかりにならないようにしています。

まめちしき

ウンシュウミカン

学名: *Citrus unshiu* Markovich

ミカン科の常緑低木またはその果実のこと。様々な品種があり、食用利用されています。湯浅農場はウンシュウミカンのほか、多くのめずらしい柑橘も栽培し、国内有数の柑橘類の品種を保存しているところです。ウンシュウミカン発祥の歴史は、諸説あるものの、約300年前に鹿児島県長島に着いた中国の交易船に積まれていた品種の種から偶然発芽し、実がなった日本原産の果実と考えられています。昔の中国では、陳皮(ちんぴ)、青皮(せいひ)という名前のおくすりとして、咳どめや胃薬などに使われていました。また、七味とうがらしの中にも、陳皮が入っていますよ。



ヨモギ

ヨモギはキク科の多年草で別名、餅草(もちぐさ)ともいう。灸に使う艾(もぐさ)は、乾燥した葉の裏側にある綿毛を採取したもの。葉は、艾葉(がいよう)という名前のおくすりです。止血作用があります。

◆近大附属農場フースが大阪高島屋に出現◆

6月1日(土)12時より地下食料品売り場にて是非お越しください。

ログハウスがある自然あふれる農場で
小中学校の遠足・課外授業
研究室ゼミ旅行・研修会をしませんか。

◆お問い合わせ◆

近畿大学附属農場
〒643-0004

和歌山県有田郡湯浅町湯浅2355-2
TEL:(0737)62-2953 FAX:(0737)62-5629